

〈解答〉

① 1 あれに

2 目

3 〔例〕理央が平橋さんの言葉を素直に受け入れたこと。(22字)

4 イ

配点 ① 1、2は各2点、他は各3点 10点満点

〈解説〉

①

1 2行目『風の力を借りて進むように、翼で風を受けている』花太郎の飛び方を「大海原を進むよう」だとたとえているのに対して、モコの飛び方を6行目『磯遊びみたい』だとたとえている。

2 「花太郎の尾羽」をじつと見つめる様子から、「目を凝らす」が適当だと判断する。

3 傍線③は比喩表現であるが、平橋さんの言葉が「しみこんでいく」というのであるから、ここで使われている「空」は、見上げている空と理央の心を重ね合わせた表現と分かる。空に吸い込まれるように平橋さんの言葉がしんなりとしみこんでいった、つまり、理央は平橋さんの言葉を素直に受け入れたと解するのが適当である。

4 26行目に『理央ちゃん、少しあせつとるかもしれないね』とあることに注目すると、モコが最近あまり飛ばないことを悩んでいる理央に対して、平橋さんは言葉を選びながら、あせる理央を落ち着かせようとしていることがわかる。傍線④の後で、理央に言い聞かせるように話していることと合わせて考えれば、イが最も適当であるといえる。